

水の大切さ

僕の通っている学校のある北杜市は、きれいな水に囲まれている。

水源がいくつもあり、全国的に有名な飲料水のメーカーの工場もあつたりするほどだ。

だからというわけではないが、僕は水が大好きだ。特に、自然の中にある水が好きだ。

雨は、静かな声で僕たちを落ち着かせてくれる。あらゆる生命を育て、僕たちに恵みを届けてくれる。

川は、そのせせらぎで僕たちをいやしてくれる。

その流れは大地を削り、地形を形作り、僕たちに美しい風景を見せてくれる。

海は、世界とのつながりを感じさせてくれる。

その広さ、深さは、僕たちに言葉では表せない、何か壮大なものを感じさせてくれる。

空を泳ぐ大きな雲だつて、地面にできる小さな水たまりだつて、みんな素敵だと思う。

でも近年、そんな水が危機にさらされているという話をたくさん聞く。

例えば、水質汚染。産業排水や生活排水が主な原因だ。

海産物が食べられなくなったり、水道水が飲めなくなったり、

身近な影響があるから、やはり注目が集まりやすい。

それに加え、僕はやっぱり景観が損なわれることが悲しい。

きれいな水、美しい水は様々な形で僕たちの日常生活を彩ってくれる。

そんな水が汚染されているなんて信じられない。

それに、水不足の問題だつてある。

世界人口の40パーセント以上にあたる人が

水不足に悩まされているというデータは僕の想像をはるかに超えていた。

僕は蛇口をひねれば、毎日おいしい水が飲めるのに、

水が飲めないなんて考えられない。

その考えは少し甘かった。世界中には飲料水どころか、

生活に使うすべての水に困る人たちがたくさんいるのだ。

他にも、海面上昇の問題や、酸性雨の問題など、

水にかかわる問題を挙げればきりがない。

僕たちが大人になってもきれいな水を使い続けるためには、

きちんと考えて水を使わなければいけない。

インターネットで調べれば、僕たちにだつてできることがあるとわかる。

それをやろうと思うか、思わないかは、水のすばらしさをいかに知っているかだと思う。

水は美しくて、すごくて、大切で、面白くて、とにかく素晴らしいものだ。

多くの人が水のすばらしさを知ることこそ、すべての水の問題を解決することにつながる。

僕は北杜市で美しい水にたくさん出会った。

ここでは自然の中にある、素晴らしい水を知ることができる。

水の素晴らしさを知りたいという人はここに来るといい。

きつと、水がいかに素晴らしいかわかる。

自然と水を守りたいという気持ちになるだろう。

その気持ちが増えていけば、水への愛が高まれば、

少しでも水問題を解決することにつながるかもしれない。



北杜市立甲陵中学校 三年

柳本悠輝

絵

一一一 明子